

我が家のアイドル募集

締切は、1歳の誕生日です。お子さんの名前（ふりがな）・性別・誕生日・住所・電話番号・保護者氏名を書いた「メモ書き」と写真（裏面に名前明記）を、郵送、メール（5MB以内）、または直接広報広聴係（市役所本館3階）へお持ちください。※写真は頭からあごまでが写り、顔の周りに余裕があるものを用意してください。

〒322-8601 今宮町 1688-1
 広報広聴係「我が家のアイドル係」
 メール koho@city.kanuma.lg.jp
 右のQRコードからもアクセス可能



1歳を迎えたお子さんを紹介します。
 ※12月15日～1月21日生掲載



藤江町
 中荒井 凰生くん
 (H30.12.15 生)



縦山町
 橋本 翔海くん
 (H30.12.20 生)



上石川
 清水 麻由花ちゃん
 (H30.12.21 生)



中田町
 下村 柁凜ちゃん
 (H30.12.22 生)



貝島町
 岡崎 美悠子ちゃん
 (H30.12.23 生)



坂田山3丁目
 高橋 花瑠ちゃん
 (H30.12.27 生)



仁神堂町
 山ノ井 楽くん
 (H30.12.27 生)



西茂呂3丁目
 神山 結衣ちゃん
 (H30.12.29 生)



武子
 大福根 健吾くん
 (H31.1.5 生)



西茂呂4丁目
 上澤 柚ちゃん
 (H31.1.6 生)



府所町
 守屋 昇悟くん
 (H31.1.8 生)



緑町2丁目
 加賀美 奨くん
 (H31.1.12 生)



口栗野
 鰐原 永真ちゃん
 (H31.1.14 生)



下粕尾
 下妻 真悠子ちゃん
 (H31.1.15 生)



貝島町
 橋本 穂高くん
 (H31.1.15 生)



貝島町
 橋本 和洋くん
 (H31.1.15 生)



緑町2丁目
 渡部 空ちゃん
 (H31.1.19 生)



上永野
 池澤 佑くん
 (H31.1.21 生)

100歳万歳!

おめでとうございます。

下田町1丁目
 細野 ウメさん
 (T9.2.29 生)

市長選挙

マイナポイント・健診

市税メモ・アイドル

市民のひろば

フラッシュ

健康

お知らせ

いちご市の本棚

ステキな人発見!



いちご農家

宇賀神 徳孝さん(33歳・奈佐原町)



プロフィール

趣味…ムエタイ

好きな食べ物…いちご、チョコレート

今回紹介するのは、都内で放映されたいちご市PR動画「いちご時報」(詳しくは10ページ参照)に登場するいちご農家・宇賀神さんです。

大学卒業後、東京で生活を送っていた宇賀神さん。実家は代々続く農家で、95歳の祖父が現役で農作業に励む姿に「いつまでも無理をさせられない」と感じ、昨年7月に実家を継ぐことを決意しました。自然を相手にする仕事に苦労も絶えないそうですが、「その分だけ作物は答えてくれます」と農業の魅力を語ります。

「いちご時報」動画での「日本一いちごが美味しい街」というキャッチコピーについて、「口にするのに少し勇気がいると思った」と笑う宇賀神さん。「でも、市内の農家の皆さんが丹精込めていちごを作っているのを知っているので、胸を張ってPRしました」とさらに笑顔を見せてくれました。これからも先代の味を守り、自慢のいちごを作り続けてください。



市民俳壇

久闊を叙してふたりの春シヨール

榎木町

上野佐喜子

朝刊を翳して追いぬ初燕

引田

斎藤 良明

梅が香に優しくありし母偲び

坂田山三丁目

角田 敏枝

時は春もぐらは土をくつがえす

西茂呂三丁目

北方 清

桜咲き廃校偲ぶ親子連れ

下武子町

広田 順一

「見えぬ敵」また手を洗う涅槃西風

上野町

神山 忠夫

電車待つ一人ひとりに春の風

崇町一丁目

中荒井弘美

退院を祝う桜の八分咲き

板荷

小池 矢佐伊

市民歌壇

デイケアの卓に二つの露の臺春が溢れて笑顔集まる

入粟野

神山 和子

初採りの芹持ちくるる友ありて香りと共に春を頂く

日吉町

小川 豊治

小林 夏江選



名前(ふりがな)・住所を明記し、はがき・メールで応募ください。締切は毎月20日(到着分)です。
〒322-8601 今宮町1-6-88-1
メール koho@city.kanumaj.jp
広報広聴係(応募部門を明記)

布川 武男選

いちごいちえ 通信 No.17

皆さんの周りのちょっと珍しい話題をご紹介します。

**民家の「きっぷうりば」
中野キイ子さん（楡木町）**



切符は150円・170円・200円の3種類あります。



無人駅では、近隣の商店などに切符販売の委託を行うことがあります。楡木駅（東武鉄道）が切符販売を委託するのは、駅の近くに住む中野キイ子さん（89）。

中野さん夫婦が、切符販売や駅内の清掃、忘れ物預かりなどを任されたのは、今から約30年前のこと。切符販売を民家に委託するのは全国的にも珍しいといえます。当時は免許センター利用者や学生など、切符を買う人が列をなすこともありましたが、ICカードの普及や交通事情の変化などにより、現在はカードを持たない高齢者や、「きっぷ

無人駅では、近隣の商店などに切符販売の委託を行うことがあります。楡木駅（東武鉄道）が切符販売を委託するのは、駅の近くに住む中野キイ子さん（89）。

中野さん夫婦が、切符販売や駅内の清掃、忘れ物預かりなどを任されたのは、今から約30年前のこと。切符販売を民家に委託するのは全国的にも珍しいといえます。当時は免許センター利用者や学生など、切符を買う人が列をなすこともありましたが、ICカードの普及や交通事情の変化などにより、現在はカードを持たない高齢者や、「きっぷ



▲楡木駅旧駅舎（平成13年撮影）。昭和40年代には、無人駅になりました。

「うりば」の情報を知り訪れる鉄道ファンがメインの利用者になっていくとのこと。

中野さんは、「少しでも役に立てればと思う。これからはできる限り続けていきたい」とほほ笑みながら語ってくれました。

身近な情報をお寄せください

皆さんの周りに、誰かに伝えたいような珍しい話題や楽しい話題はありませんか？ぜひ下記までご連絡ください。

連絡先 鹿沼営業戦略課広報広聴係
☎(63)2128・FAX(63)2292
メール koho@city.kanuma.lg.jp

市民川柳

里の家甥の時代^{おい}に代わりたり父母在りし日は遠くなりゆく 御成橋町二丁目 浅野 賀子

落^{ふき}、菜花膳^{なばな}に並びし旬野菜目にて楽しみ舌に味わう 西沢町 安達 和子

「遊ぼう」と孫の持ち来しけん玉に昔遊びし楽しさ返る 御成橋町一丁目 秋澤 和子

孫と我ひとつ机に勉強す休校日は我も小学生なり 万町 中又 令子

もう一回せがまれ孫とかくれんぼ探偵ごころの芽生えし二歳 上殿町 山野 幸子

春告ぐる白き可憐な節分草今年花かず増えて嬉しき 久野 広田 文子

孫娘のおさがり羽織り温い春 戸張町 柿沼しげ子

春来ればゴーヤを植えて夏を待つ 西茂呂 円山ミツ子

春眠へ起こす目覚ましあと五分 東町三丁目 松永 治子

インフルか花粉コロナかくしやみする 千渡 手塚 イチ

千の風確かに吹いた虎落笛^{もがりぶえ} 上殿町 小暮 靖子

イベントもコロナウイルス狂わせる 下奈良部町 小野口 博

早春賦歌^{そうしんぶ}いそびれてしまいそう 万町 海原ゆう子

ウイルスが人付き合いのジャマをする 上殿町 沼尾 登代

白石 洋 選